

礼拝メッセージフィードバック

<今日の聖書箇所は…>

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

セル ガイド

- ① 祈り、賛美によって主がここにいてくださることを信じ、聖霊様があがめます。
- ② 互いの存在を感謝し、尊敬するところを分かち合しましょう。
- ③ ディポジションの分かち合いをします。
- ④ セルの目的と働きについてみなで共有して、祈り、遣わされて行きましょう。

家族礼拝ガイド

年長のクリスチャンがリードしてください。進め方にはいろいろな意見が出るかもしれませんが、「主に期待する」信仰が最も大切です。いつもの家族のでいいのです。

- ① この1週間で神様はすばらしいと感じたのはどんなこと？
- ② この1週間でお互いにどんなことを感謝しますか？（または誉めたいですか？）1つだけ。
- ③ 聖書のみことばから、どんな実践をして、またどんな恵みがありましたか？
- ④ 互いの必要のために祈りましょう。

デーヴォ ガイド



2020.6.8-14

But **grow** in the grace and knowledge of our Lord and Savior Jesus Christ. To him be glory both now and forever! Amen. II Peter 3:18

L T G ガイド

- ① お互いへの感謝と誉めることを分かち合しましょう。（2～3つ）
- ② 1週間の罪を言い表して悔い改め、互いに祈りましょう。
- ③ 礼拝メッセージの分かち合いをします。
礼拝メッセージの分かち合いが難しい場合はディポジションの分かち合い（なるべく短く）
- ④ 預言の祈り（主の御心を宣言して祈り）をします。

28:58 もし、あなたが、この光栄ある恐るべき御名、あなたの神、主を恐れて、この書物に書かれてあるこのみおしえのすべてのことばを守り行なわないなら、

28:59 主は、あなたへの災害、あなたの子孫への災害を下される。大きな長く続く災害、長く続く悪性の病気である。

28:60 主は、あなたが恐れたエジプトのあらゆる病気をあなたにもたらされる。それはあなたにまといつこう。

28:61 主は、このみおしえの書にしるされていない、あらゆる病気、あらゆる災害をもあなたの上に臨ませ、ついにはあなたは根絶やしにされる。

28:62 あなたがたは空の星のように多かったが、あなたの神、主の御声に聞き従わなかったので、少人数しか残されない。

28:63 かつて主があなたがたをしあわせにし、あなたがたをふやすことを喜ばれたように、主は、あなたがたを滅ぼし、あなたがたを根絶やしにすることを喜ばれよう。あなたがたは、あなたがたは行って行って、所有しようとしている地から引き抜かれる。

28:64 主は、地の果てから果てまでのすべての国々の民の中に、あなたを散らす。あなたはその所で、あなたも、あなたの先祖たちも知らなかった木や石のほかの神々に仕える。

28:65 これら異邦の民の中であって、あなたは休息することもできず、足の裏を休めることもできない。主は、その所で、あなたの心をおののかせ、目を衰えさせ、精神を弱らせる。

28:66 あなたのいのちは、危険にさらされ、

あなたは夜も昼もおびえて、自分が生きることさえおぼつかなくなる。

28:67 あなたは、朝には、「ああ夕方であればよいのに。」と言い、夕方には、「ああ朝であればよいのに。」と言う。あなたの心が恐れる恐れと、あなたの目が見る光景とのためである。

28:68 私がかつて「あなたはもう二度とこれを見ないだろう。」と言った道を通って、主は、あなたを舟で、再びエジプトに帰らせる。あなたがたは、そこで自分を男奴隷や女奴隷として、敵に身売りしようとしても、だれも買う者はいまい。

律法を守らない者へのろいです。災害、病気、離散、疲労、精神衰弱、危険、身売りなどなどがあると述べられています。これを聞いて素直に、主に従おうと思うことが良いのだと思います。

ただし厳密に言うなら、今は新約の時代であって、律法の行いによってではなく、神の恵みによって生きるのが私たちです。すなわち、従おうと思ってもできない現実があり、しかし救いの恵みに感じて聖霊によって変えられて生きることができるのです。

また主は愛する者を成長させるために、また主の愛と恵みを体験させるために、様々は試練に会わせることがあるのです。訓練と思って耐え忍ぶことはとても素晴らしいことです。主は平安な義の実を結ばせてくださいます。

これらのことを知った上で、またそのような生き方をしている者として、素直に主に従いましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は抜おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



9日 火曜

申命記

29:1 これは、モアブの地で、主がモーセに命じて、イスラエル人と結ばせた契約のことばである。ホレブで彼らと結ばれた契約とは別である。

29:2 モーセは、イスラエルのすべてを呼び寄せて言った。あなたがたは、エジプトの地で、パロと、そのすべての家臣たちと、その全土とに対して、主があなたがたの目の前でなされた事を、ことごとく見た。

29:3 あなたが、自分の目を見たあの大きな試み、それは大きなしるしと不思議であった。

29:4 しかし、主は今日に至るまで、あなたがたに、悟る心と、見る目と、聞く耳を、下さらなかった。

29:5 私は、四十年の間、あなたがたに荒野を行かせたが、あなたがたが身に着けている着物はすり切れず、その足のくつもすり切れなかった。

29:6 あなたがたはパンも食べず、また、ぶどう酒も強い酒も飲まなかった。それは、「わたしが、あなたがたの神、主である。」と、あなたがたが知るためであった。

29:7 あなたがたが、この所に来たとき、ヘシュボンの王シホンとバシャンの王オグが出て来て、私たちを迎えて戦ったが、私たちは彼らを打ち破った。

29:8 私たちは、彼らの国を取り、これを相続地としてルベン人と、ガド人と、マナセ人の半部族とに、分け与えた。

29:9 あなたがたは、この契約のことばを守り、行ないなさい。あなたがたのすることがみな、栄えるためである。



約束を果たすように勧めています。それは出エジプトのときの主のみわざです。また荒野では40年もの間、主が守ってくださったと述べています。

「荒野を行かせた」とあるような生活は、民にとってはつらいものであったでしょうから、人々は何とか生活できるようにというのが関心事であったでしょう。そして信仰の目的は生活のためであったでしょうが、主は「『わたしが、あなたがたの神、主である。』と、あなたがたが知るためであった。」と言われます。

私たちの目的も主を知ることにあります。そのための試練であり、また祈りの答えであり、主の恵みなのです。主を知ることが生活のための手段ではなく、生活が主を知するための手段なのです。試練や祈りやまた恵みを通して、主を知ることが求めましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたの中の部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



▶10日 水曜

申命記

29:10 きょう、あなたがたはみな、あなたがたの神、主の前に立っている。すなわち、あなたがたの部族のかしらたち、長老たち、つかさたち、イスラエルのすべての人々、

29:11 あなたがたの子どもたち、妻たち、宿営のうちにいる在留異国人、たきぎを割る者から水を汲む者に至るまで。

29:12 あなたが、あなたの神、主の契約と、あなたの神、主が、きょう、あなたと結ばれるのろいの誓いとに、はいるためである。

29:13 さきに主が、あなたに約束されたように、またあなたの先祖、アブラハム、イサク、ヤコブに誓われたように、きょう、あなたを立ててご自分の民とし、またご自身があなたの神となられるためである。

29:14 しかし、私は、ただあなたがたとだけ、この契約とのろいの誓いとを結ぶのではない。

29:15 きょう、ここで、私たちの神、主の前に、私たちとともに立っている者、ならびに、きょう、ここに、私たちとともにいない者に対しても結ぶのである。

29:16 事実、あなたがたは、私たちがエジプトの地に住んでいたこと、また、私たちが異邦の民の中を通して来たことを知っている。

29:17 また、あなたがたは、彼らのところにある忌むべきもの、木や石や銀や金の偶像を見た。

29:18 万が一にも、あなたがたのうちに、きょう、その心が私たちの神、主を離れて、これらの異邦の民の神々に行って、仕えるような、男や女、氏族や部族があってはならない。あなたがたのうちに、毒草や、苦よもぎを生ずる根があってはならない。



29:19 こののろいの誓いのことばを聞いたとき、「潤ったものも渴いたものもひとしく滅びるのであれば、私は自分のかたくなな心のままに歩いても、私には平和がある。」と心の中で自分を祝福する者があるなら、

29:20 主はその者を決して赦そうとはされない。むしろ、主の怒りとねたみが、その者に対して燃え上がり、この書にしるされたすべてののろいの誓いがその者の上にのしかかり、主は、その者の名を天の下から消し去ってしまう。

29:21 主は、このみおしえの書にしるされている契約のすべてののろいの誓いにしたが、その者をイスラエルの全部族からより分けて、わざわざを下される。

「…契約と、…のろいの誓いとに、はいる」とはうれしくないことばです。しかし、従わない者には「のろい」があるのだというのは、事実であり、従いのための動機になるものです。

むしろ良くないのは、間違った祝福です。「心の中で自分を祝福する者」というのは、主に従わなくても結果は同じだからだじょうぶだという、自分への祝福であり、間違ったものです。

勝手な祝福への道すじを持つのはやめましょう。のろいと祝福を主から教えてもらいましょう。主への従いを祝福への入り口としましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



29:22 後の世代、あなたがたの後に起こるあなたがたの子孫や、遠くの地から来る外国人は、この地の災害と主がこの地に起こされた病気を見て、言うであろう。

29:23 ・ ・ その全土は、硫黄と塩によって焼け土となり、種も蒔けず、芽も出さず、草一本も生えなくなっており、主が怒りと憤りで、くつがえされたソダム、ゴモラ、アデマ、ツェボイムの破滅のようである。 ・ ・

29:24 すべての国々は言おう。「なぜ、主はこの地に、このようなことをしたのか。この激しい燃える怒りは、なぜなのだ。」

29:25 人々は言おう。「それは、彼らの父祖の神、主が彼らをエジプトの地から連れ出して、彼らと結ばれた契約を、彼らが捨て、

29:26 彼らの知らぬ、また彼らに当てたのもない、ほかの神々に行って仕え、それを拝んだからである。

29:27 それで、主の怒りは、この地に向かって燃え上がり、この書にしるされたすべてののろいが、この地にもたらされた。

29:28 主は、怒りと、憤激と、激怒とをもって、彼らをこの地から根こぎにし、ほかの地に投げ捨てた。今日あるとおりに。」

29:29 隠されていることは、私たちの神、主のものである。しかし、現わされたことは、永遠に、私たちと私たちの子孫のものであり、私たちがこのみおしえのすべてのことばを行なうためである。

神からののろいは明確なものです。後の世代も外国人もわかるような結末が待っているということです。実際に歴史上にそのことは起こりました。アッシリアやバビロニアに攻められ、陥落し、捕囚とし

て異国で虐げられた生活を送ることになったので

す。
私たちの信仰は、今の世代だけでなく後の世の証にもなるのだということを、心に留めましょう。それがのろいではなく、証しや希望となるように生きましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



30:1 私があなたの前に置いた祝福とのろい、これらすべてのことが、あなたに臨み、あなたの神、主があなたをそこへ追い散らしたすべての国々の中で、あなたがこれらのことを心に留め、

30:2 あなたのなら、

30:3 あなたの神、主は、あなたを捕われの身から帰らせ、あなたをあわれみ、あなたの神、主がそこへ散らしたすべての国々の民の中から、あなたを再び、集める。

30:4 たとい、あなたが、天の果てに追いやられていても、あなたの神、主は、そこからあなたを集め、そこからあなたを連れ戻す。

30:5 あなたの神、主は、あなたの先祖たちが所有していた地にあなたを連れて行き、あなたはそれを所有する。主は、あなたを榮えさせ、あなたの先祖たちよりもその数を多くされる。

30:6 あなたの神、主は、あなたの心と、あなたの子孫の心を包む皮を切り捨てて、あなたが心を尽くし、精神を尽くし、あなたの神、主を愛し、それであなたが生きるようにされる。

30:7 あなたの神、主は、あなたを迫害したあなたの敵や、あなたの仇に、これらすべてののろいを下される。

30:8 あなたは、再び、主の御声に聞き従い、私が、きょう、あなたに命じる主のすべての命令を、行なうようになる。

30:9 あなたの神、主は、あなたのすべての手のわざや、あなたの身から生まれる者や、家畜の産むもの、地の産物を豊かに与えて、あなたを榮えさせよう。まことに、主は、あな

たの先祖たちを喜ばれたように、再び、あなたを榮えさせて喜ばれる。

30:10 これは、あなたが、あなたの神、主の御声に聞き従い、このみおしへの書に示されている主の命令とおきてとを守り、心を尽くし、精神を尽くして、あなたの神、主に立ち返るからである。

「祝福とのろい、これらすべてのことが、あなたに臨み」とありますから、モーセはそののろいの出来事が実際に起こることを知っていたようです。それでもイスラエルには回復の希望がありました。「神、主に立ち返り、きょう、私がおあなたに命じるとおりに、あなたも、あなたの子もたちも、心を尽くし、精神を尽くして御声に聞き従う」ということができるなら、「捕われの身から帰らせ…」ということが起こるといえるのです。

それはどんなに困難に見える状況でも実現すると主は約束してくださっています。しかも敵に対しては「のろいを下される」というのです。

どんな状況からでも、もしも問題があるなら、主に立ち返りましょう。今、すぐにそれをしましょう。日常の中でも、小さなことでも、主のみこころを行い、小さな回復を試みましょう。そのうにして主を体験しましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



30:11 まことに、私が、きょう、あなたに命じるこの命令は、あなたにとってむずかしすぎるものではなく、遠くかけ離れたものでもない。

30:12 これは天にあるのではないから、「だれが、私たちのために天に上り、それを取って来て、私たちに聞かせて行なわせようとするのか。」と言わなくてもよい。

30:13 また、これは海のかなたにあるのではないから、「だれが、私たちのために海のかなたに渡り、それを取って来て、私たちに聞かせて行なわせようとするのか。」と言わなくてもよい。

30:14 まことに、みことばは、あなたのごく身近にあり、あなたの口にあり、あなたの心にあって、あなたはこれを行なうことができる。

30:15 見よ。私は、確かにきょう、あなたの前にいのちと幸い、死とわざわいを置く。

30:16 私が、きょう、あなたに、あなたの神、主を愛し、主の道に歩み、主の命令とおきてと定めとを守るように命じるからである。確かに、あなたは生きて、その数はふえる。あなたの神、主は、あなたが、はいつて行って、所有しようとしている地で、あなたを祝福される。

30:17 しかし、もし、あなたが心をそむけて、聞き従わず、誘惑されて、ほかの神々を拝み、これに仕えるなら、

30:18 きょう、私は、あなたがたに宣言する。あなたがたは、必ず滅びうせる。あなたがたは、あなたが、ヨルダンを渡り、はいつて行って、所有しようとしている地で、長く生

きることはできない。

30:19 私は、きょう、あなたがたに対して天と地とを、証人に立てる。私は、いのちと死、祝福とのろいを、あなたの前に置く。あなたはいのちを選びなさい。あなたもあなたの子孫も生き、

30:20 あなたの神、主を愛し、御声に聞き従い、主にすがるためだ。確かに主はあなたのいのちであり、あなたは主が、あなたの先祖、アブラハム、イサク、ヤコブに与えるのと誓われた地で、長く生きて住む。

主の命令は「むずかしすぎるものではなく、遠くかけ離れたものでも」ありません。私たちの能力にとって守り得るものです。だからこそ、偶像の誘惑がなんと強いものであるかが思われます。

それでモーセはしつこいくらいに、「誘惑されて、ほかの神々を拝み、これに仕えるなら…あなたがたは、必ず滅びうせる。」と警戒しています。聖書の真理や命令はむずかしいことはありません。礼拝することは誰にでもできます。ささげることも祈ることも子どもにもできることです。しかし、自分の欲望や願望に流されてしまうと、それができなくなるのです。

聖書では偶像とは私たちの欲望であると言っていますから、そこをよく警戒していきましょう。子どもでもできることであつても、主の御心を忠実にに行い続けましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあつて何を実践しますか？



申命記



31:1 それから、モーセは行って、次のことばをイスラエルのすべての人々に告げて、
 31:2 言った。私は、きょう、百二十歳である。もう出入りができない。主は私に、「あなたは、このヨルダンを渡ることができない。」と言われた。
 31:3 あなたの神、主ご自身が、あなたの先に渡って行かれ、あなたの前からこれらの国々を根絶やしにされ、あなたはこれらを占領しよう。主が告げられたように、ヨシュアが、あなたの先に立って渡るのである。
 31:4 主は、主の根絶やしにされたエモリ人の王シホンとオグおよびその国に対して行なわれたように、彼らにしようとしておられる。
 31:5 主は、彼らをあなたがたに渡し、あなたがたは私が命じたすべての命令どおり、彼らに行なおうとしている。
 31:6 強くあれ。雄々しくあれ。彼らを恐れてはならない。おののいてはならない。あなたの神、主ご自身が、あなたとともに進まれるからだ。主はあなたを見放さず、あなたを見捨てない。
 31:7 ついでモーセはヨシュアを呼び寄せ、イスラエルのすべての人々の目の前で、彼に言った。「強くあれ。雄々しくあれ。主がこの民の先祖たちに与えると誓われた地に、彼らとともにいるのはあなたであり、それを彼らに受け継がせるのもあなたである。
 31:8 主ご自身があなたのために進まれる。主があなたとともにおられる。主はあなたを見放さず、あなたを見捨てない。恐れてはならない。おののいてはならない。」

ない。おののいてはならない。あなたの神、主ご自身が、あなたとともに進まれるからだ。主はあなたを見放さず、あなたを見捨てない。」とは、なんと力強い言葉であろうかと思えます。しかし一方、これまで明らかにされてきた、従わないときののろいはなんと恐ろしいものかとも思えます。まさにイスラエルの行く末には、輝かしい勝利か、悲惨な敗北か、その両極端が待ち受けているようです。これはまさに信仰の行く末であって、私たちには適当などつつかずなどはないのです。主に従って祝福を得るか、従わずに祝福を逃すかしかないのです。しかし今は新約の時代であって、律法による救いではありません。主は私たちの弱さをご存知ですから、主に赦しを請い求めつつ、聖霊によって変えられつつ、御心を行ってゆきましょう。

- ①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）
- ②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）
- ③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）
- ④この世にあって何を実践しますか？

